



京放技ニュース

3 / 2020
(通算718号)

発行:(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX.075-802-0082 E-mail:kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp
ホームページアドレス http://www.kyohogi.jp/

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番)109 当座 0011019 シャ)キョウトフハウシャセンギシカイ

公益社団法人 京都府放射線技師会

令和となった1年の技師会を振り返って

(公社)京都府放射線技師会副会長 原口 隆志

平成から令和となり日本としても様々な行事が行われ、今年度につきましても、もう終わりが近づいてきました。ただ、この会誌が配布されている時にはどうなっているかは分かりませんが、新型のコロナウイルスのニュースですっかりもちきりとなり、マスクはコンビニ等を見ると全くなく、私たち医療機関にも入荷することが出来ない状態で、インフルエンザの話もあまり出ない程の異常事態に陥っています。医療従事者としては正確な情報の基に冷静に対応する必要がありますと思います。

さて、年度末となり今年度の技師会活動を総括してみたいと思います。

今年度については、重要な取り組みとして「業務拡大に伴う統一講習会」と「近畿地域診療放射線技師会学術大会」が挙げられると思います。前者につきましても今年度が地域開催の最終年として京都府で4回の開催となりました。2015年度より本格的に講習会を開催し、恐らく18回くらいかと思われませんが、受講者は京都府会員では450名を超え、7割を優に超える受講者数となり、全国的にも高い受講率となりました。ひとえに皆さんのご理解があったものと思っております。来年度以降、地域開催はなくなりますが、まだまだ受講をお済でない技師も多くいるのも事実で、是非とも受講をお勧めします。因みに来年度は日放技主体で10回ほどの開催が予定され、そのうち3回は大阪府での開催が既に決まっています。開催日時につきましては改めて広報しますので、まだ受講されていない方は宜しく願いいたします。

そして、2月9日に開催された「近畿地域診療放射線技師学術大会」であります。参加人数356名と多くの参加のもと盛況に開催できました。様々な講演・シンポジウム・演題発表を1日に詰め込んだ感がありますが、参加者には少しでも実りあるものにと1年前より取り組んでまいり、それぞれ担当していただいた実行委員のご協力により充実した大会であったかと思っております。改めて感謝申し上げます。

そして、研修事業につきましても、通例開催しています研修会に加え「診療放射線技師会の為の臨床セミナー」の開催など、新たな取り組みを行う事が出来ております。

また、交流事業としてのBBQについても以前とは日程を変更し、内容も変更してチャレンジしてもらい中々好評であったかと思われれます。原子力災害での取り組みなど様々で多くの事業を展開しておるところではありますが、それに加え新たな取り組みにより、さらに会員の為に役に立つ会になればと思っています。活発な事業を今後も展開するには会員の皆様の更なる参加が重要であります。来年度も引き続き様々な事業や研修会を予定していますので是非ともご協力とともにご参加の程宜しく願いいたします。

最後に、今年は暖冬と言われていますが、寒い時もやはりあるかと思っておりますので会員の皆様には、体調を崩されぬよう心からお祈り致します。

令和元年度近畿地域診療放射線技師会学術大会を終えて

学術理事

令和元年度近畿地域診療放射線技師会学術大会実行委員長 後藤 正

令和2年2月9日（日）に令和元年度近畿地域診療放射線技師会学術大会が京都テルサにて行われました。総勢350名を超える参加者となり、無事に終えることができました。

大会の始めに日本診療放射線技師会佐野副会長より教育講演「将来の診療放射線技師像を求めて」として、医療放射線の安全管理、医師から他職種へのタスク・シフティング、診療放射線技師プラクティショナー制度、診療放射線技師の将来像についてご講演頂きました。めまぐるしく変革する現代医療に対して診療放射線技師が今後どのような取り組みでいけばよいのか、多くの可能性と課題を認識することができました。

府民公開講座は、「元気に楽しく生きよう」～食べて延ばそう健康寿命～と、題して国立病院機構京都医療センター栄養管理室長西田博樹先生、同じく国立病院機構京都医療センター臨床研究センター内分泌代謝高血圧研究部長浅原哲子先生にご講演頂きました。多くの一般府民にご参加頂き、現代社会におけるメタボリックシンドロームの問題と、健康寿命を延ばすための食事療法、健康維持のための取組みなど様々な観点からご説明頂きました。生きていくうえで欠かせないものであり、楽しみの一つである「食」に関してどう向き合っていけばよいかを学ぶことができました。

特別講演では「医療安全を法的視点から考える」と題して北浜法律事務所弁護士の長谷部圭司先生にご講演頂きました。法の観点から技師としてのリスクマネジメントについて詳しく解説頂きました。

その他にも、女性活躍推進班のパネルディスカッション、骨撮影分科会、読影分科会、管理士分科会の講演、一般演題、国際セッション、ランチョンセミナー、企業展示など多くの企画が行われました。

国際セッションではコロナウイルスの影響により韓国からの演者が来日できなくなりました。日本人発表者だけのセッションとなりましたが、座長の先生、演者の先生のご尽力により盛況に行えました。

また、演者だけでなく韓国から多くの招待者が来日できなくなりました。大変残念でしたが、今後もソウル特別市放射線士会との友好関係は変わりなく続くことを期待します。

1年以上前から準備に取り組んできた学術大会、たくさんの方々のご協力により無事終えることができました。今大会にご参加いただいた会員の皆様、近畿地域放射線技師会の皆様、実行委員の皆様、本当にありがとうございました。



他府県を含めた実行委員メンバー

第10回理事会報告 令和2年2月1日

議長に松本理事、書記に中川政幸理事を選任し午後4時半より議事開始

I. 経過報告及び計画に関する件**1) 経過報告および計画 河本会長****(経過報告)**

- ・1月15日 京都府医療推進協議会代表者会議(京都府医師会館)
令和元年度近畿地域診療放射線技師会学術大会
第13回実行委員会(京放技事務所)
- ・1月17日 京都府医療推進協議会代表者会議(京都府医師会館)
令和元年度近畿地域診療放射線技師会学術大会
第14回実行委員会(京放技事務所)
- ・1月18日 京都私立病院協会新年会(京都プライトンホテル)
- ・1月19日 令和元年度近畿地域診療放射線技師会開基大会
(大阪府医師協同組合8階大ホール)
- ・1月25日 令和元年度第1回技師長会
(京都府立医科大学永守記念最先端がん治療研究センター会議室)
- ・1月31日 令和元年度近畿地域診療放射線技師会学術大会
第15回実行委員会(京都テルサ)
- ・2月1日 令和元年度第10回理事会(京放技会議室)
- ・2月5日 令和元年度近畿地域診療放射線技師会学術大会
第16回実行委員会(京放技事務所)
- ・2月8日 令和元年度近畿地域診療放射線技師会第2回会長、
副会長会議(京都第二赤十字病院)
- ・2月9日 令和元年度近畿地域診療放射線技師会学術大会
(京都テルサ)
- ・3月7日 令和元年度第11回理事会(京放技会議室)
- ・4月4日 令和元年度期末監査(京放技事務所)
- ・4月11日 令和2年度第1回理事会(京放技会議室)
- ・5月9日 京都府放射線技師会第73回通常総会、
第578回研修会、令和2年度第2回理事会
(エーザイ京都CO)
- ・6月6日 日放技第81回定時総会(会場未定)
- ・6月6・7日 全国会長ワークショップ(日放技会議室)
- ・6月14日 第55回京都病院学会(池坊短期大学)
- ・6月13日 令和2年度第3回理事会(京放技会議室)

2) 各委員会報告及び計画**【庶務】皿谷理事**

- ・会員数1月26日現在664名(先月+6)
- (内訳)名誉会員5名、正会員635名、賛助会員24社
- 令和元年度新入会累計114名(再入会10名含む、転入会含まず)
- ・1月7・20・21・25日庶務委員会開催(京放技事務所)
- ・対外文書56件、発刊文書15件(1月1~26日)
- ・新卒入会2名、新入会4名を承認

【財務】渡里理事

- ・会費納入状況(令和元年1月末日現在)
- 令和元年度会費納入者577名、会費未納者39名
- ・1,920,004円(1月)の歳入
- ・事業費506,488円、管理費139,684円の歳出(1月)
- ・1月8・23・28日財務委員会開催(京放技事務所)

【学術】後藤理事

- ・1月12・13日業務拡大に伴う統一講習会開催
(京都第二赤十字病院)
- ・1月15日 第13回近畿地域学術大会実行委員会開催
(京放技事務所)
- ・1月17日 第14回近畿地域学術大会実行委員会開催
(京放技事務所)
- ・1月31日 第15回近畿地域学術大会実行委員会開催(京都テルサ)
- ・2月5日 第16回近畿地域学術大会実行委員会開催予定
(京放技事務所)
- ・2月8日 事前準備予定(京都テルサ)
- ・2月9日 近畿地域診療放射線技師会学術大会開催予定
(京都テルサ)

【編集】中島理事

- ・1月12・13日 業務拡大に伴う統一講習会出席(京都第二日赤)
- ・1月15日 近畿学術大会実行委員会出席(京放技事務所)
- ・1月21日 近畿学術大会雑務(京放技事務所)
- ・1月27日 1月号ニュース校了

【広報・渉外】新井理事

- ・1月31日 「無資格者による診療放射線技師業務の防止に関する要望」書発刊(京放技事務所)
- ・2月4日 「第55回京都病院学会第1回実行委員会」開催予定
(京都私立病院協会会議室)
- ・3月3日 「第55回京都病院学会第2回実行委員会」開催予定
(京都私立病院協会会議室)
- ・令和元年度/2年度京都府補助金関連書類を製作予定
- ・第55回京都病院学会へ準備委員・座長の選出を要望

【組織調査】蒲理事

- ・1月下旬 班編成見直し作業
- ・南地区及び中地区の班編成見直しを承認

【厚生】中川稔章理事

- ・1月19日 近畿地域診療放射線技師会囲碁大会参加
京都府チーム3位(大阪府医師協同組合)

【情報】大西理事

- ・1月13日 近畿地域学術大会の一般演題発表者に案内メール送信
- ・1月14日 近畿地域学術大会の発表の質疑の回答
- ・1月16日 近畿地域学術大会の一般演題発表者に案内メール再送
- ・1月22日 情報委員候補へ連絡
- ・1月25日 ホームページのトップページを更新
- ・1月27日 近畿地域学術大会の一般演題発表者に案内メール
再々送信
- ・1月28日 ホームページのトップページを更新
- ・2月8日 情報委員会を開催予定
- ・情報委員として関西医科大学の長野祐馬を承認

【管理士】山根理事(庶務理事代読)

- ・1月31日 京都府原子力防災訓練会議(京都市)
- ・2月9日 近畿地区管理士会ミーティング開催予定(京都テルサ)

【両丹学術】橋岡理事

- ・1月11日 会場コンテ打合せ(京放技事務所)
- ・1月17日 近畿学術大会第14回実行委員会(京放技事務所)
- ・2月15日 両丹地区冬季研修会予定(福知山市市民交流センター)

【受賞者選考委員会】河本会長

報告事項なし

II. 地区経過報告及び計画に関する件**【北地区】河野理事**

- ・1月18日 イベント案内をメール配信
- ・1月27日~ 次期地区委員調整
- ・2月 北地区委員会開催予定

【中地区】楡理事

- ・1月11~19日 近畿地域学術大会準備に関する連絡を配信
- ・1月12日 技師長・副技師長会開催のお知らせを配信
- ・1月14日 連絡網整備のための連絡を事務所に依頼
- ・1月15日 近畿地域学術大会実行委員会出席(京放技事務所)
- ・1月17日 2月の勉強会、学術大会への参加呼びかけを配信
- ・近畿地域学術大会実行委員会出席(京放技事務所)
- ・1月19~20日 会員の日放技登録情報修正に関する連絡配信
- ・1月28~29日 来季の地区編成に関する連絡
- ・2月8日 近畿地域放射線技師会学術大会準備参加予定
(京都テルサ)

- ・2月9日 近畿地域放射線技師会学術大会参加予定(京都テルサ)

【東地区】中川政幸理事

- ・1月14日 会長・副会長信任投票、会費未納入についてメール配信
- ・1月28日 近畿地域診療放射線技師会学術大会についてメール配信

【西地区】平井理事

- ・1月13日 西地区会費未納者への納付のお願い
- ・1月14日 西地区委員へメール配信
- ・1月20~22日 西地区、地区分け案作成
- ・1月25日 第一回技師長会出席(62名参加)
(京都府立医科大学永守記念最先端がん治療研究センター会議室)
- ・1月29日 来季西地区理事候補者へ訪問
- ・地区委員へ新地区分け案を検討いただき可決予定

【南地区】三浦理事

- ・1月10日 技師長会案内を連絡網で配信
- ・1月13日 学術大会実行委員へ案内文を配信

【両丹地区】平林理事

- ・連絡メールを各施設へ配信
- ・両丹地区研修会報告会新年会のご案内を各施設へ配信
- ・2月15日地区研修会開催(福知山市市民交流センター)
- ・研修会終了後新年会を予定

【西南部地区】松本理事

- ・1月29日 第2回西南部地区委員会と情報交換会開催

III. その他

- 1) 令和2年度事業計画案、予算案(河本会長、渡里理事)
令和2年度事業計画案と予算案が承認された。
 - 2) 資金調達及び設備投資の見込みについて(河本会長)
次年度に金融機関からの融資調達の予定はない。また、新たに建築物を建てる予定はないことを承認した。(京都府からの指導で毎年度この確認が必要)
 - 3) 定款、規程集内容変更の件(会費納入規程の4、職員給与、旅費規程の追加)(河本会長)
定款・規定・内規の改正が令和2年度版として承認された。
 - 4) 近畿学術実行委員会報告(後藤理事)
現状の準備状況が説明された。
 - 5) 台風19号義援金について(河本会長)
台風19号義援金について京放技より23,000円を寄付したことが報告された。
- 以上、各議案について採択し承認された。(文責:中川政幸)

求人のお知らせ

京都市中京区の診療所にて正職員の募集があります。
詳しくは京放技事務所までお問い合わせください。

編集後記

新型コロナウイルスがいろんな意味で猛威を振るっている。発生源とされている中国武漢市は地方とはいえ東京23区より多い人口で（面積は10倍を超えているので人口密度としては低い）、かなりの都市であることを考慮すると、医療設備も整っているはずである。そこでかなりの感染者と死者が発生しているので、新型コロナウイルスは恐ろしいと言えるだろうが、報道では症状がない感染者も多数報告されている。その事実を踏まえると、旧型のコロナウイルスと区別する必要があるのか（個人的には）疑問である。今までも、「風邪」と診断された（正確には上気道炎）場合の2～3割はコロナウイルス感染であり、それにより高齢者が肺炎で死亡することも珍しくないの、いわゆる通常の「スタンダード・プリコーション」のみでいように思う（あくまで私の個人的見解）。市中感染（感染経路がはっきりしない感染）も発生している現状では「パンデミック（病気が国中に広まっていること）」が発生していると思う（しつこいようですが私の個人的見解）。電車通勤している人は、かなりの確率で新型コロナウイルスに触れているか、未症状の感染が発生していると思う（あくまで個人的見解です）。過去には新型インフルエンザが連日報道されて国民が混乱しましたが、現在では通常のインフルエンザになっている。それと同じように、この新型ウイルスも、将来は新型でない通常のコロナウイルスになるのはほぼ確実である（個人的見解）ので、必要以上に恐れる必要はないはずである。私は新型インフルエンザ混乱の時に、神戸（日本で初めて新型インフルエンザの集団感染が発生した）に観光に行くと、異人館の建物が貸し切り状態で、人の写らない写真が撮り放題であった。あえて観光に行くことを推奨するわけではないですが（集団に入るのはやはり危険であるので）、医療人である皆様には報道や噂に惑わされることなく、科学的根拠に基づいて行動することを願います。

編集委員会 中島 智也

▶ 理事会で決定、報告された重要事項

- 令和2年度事業計画案と予算案が承認された。（通常総会にて最終審議）
- 定款・規定・内規の改正が令和2年度版として承認された。（通常総会にて報告）
- 日放技が集めている台風19号義援金について、京放技より23,000円を寄付した。

▶ 3月以降の京放技活動

5月9日（土） 第73回通常総会 エーザイ京都（予定）

▶ 3月以降の京都府以外での近隣講習会

新年度のイベントは決まっていません

会 員 異 動

【新卒入会】 2名
【新入会】 4名

編集：（公社）京都府放射線技師会編集委員会 印刷：（有）修美社